

**事前登録
受付中**

事前登録いただいた方には、
会期後当日の資料（抜粋）を
メールにてお送りします。

第 47 回日本毒性学会学術年会

モレキュラーデバイスジャパン株式会社 オンラインスポンサーセッションのご案内

セッション 1

**創薬開発におけるハイスループット Organ-on-a-chip 組織モデル
開発、およびハイコンテンツイメージングシステムの応用可能性**

Mimetas Japan 株式会社との共同開催

日 時 6/29 (月) 13:10 ~ 14:10

場 所 オンライン

演者 1 Chiwan Chiang

アプリケーションサイエンティスト、MIMETAS BV

演者 2 山口 光生

製品管理部 創薬・HTS 製品 プロダクトマネージャー、
モレキュラーデバイスジャパン株式会社

本講演では MIMETAS とモレキュラーデバイスのエキスパートが肝臓や腎臓、消化管、脳といった三次元組織の事例について紹介します。In vitro の細胞培養マイクロプレートのフォーマットをもつ OrganoPlate® で培養することで、1プレートあたり 40 を超える組織を作製することができます。培養組織は細胞外マトリクスの内部に埋め込まれ、上皮組織のように間質組織や血管を同時に培養できます。

モレキュラーデバイスの ImageXpress® Micro Confocal ハイコンテンツイメージングシステムは、厚みのある組織、生体モデル、細胞内 / 細胞間事象の高品質な画像を従来の 2D に加え 3D でも撮影できるユニークな共焦点技術を搭載しています。今年リリースした最新の水浸レンズや OrganoPlate® のような特殊なプレートデザインにも適した優れたオートフォーカス機能により、複雑な 3D 組織モデルを用いたアッセイの開発、解析に重要な役割を果たします。

事前参加登録受付中!

下記 URL より、学会参加登録された際の ID とパスワードを入力いただき、ログインしてください。登録もこのページからできます。ログイン後、「スポンサーセッションの参加登録」をクリックするとセッションの一覧が表示されます。

第 47 回年会登録システム: <https://www3.e-kenkyu.com/tox2020/signin/ja>



セッション 2

イメージング技術により変わりゆく毒性評価法

日 時 7/1 (水) 13:00 ~ 14:00

場 所 オンライン

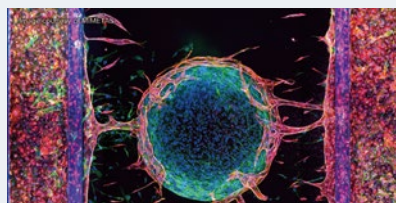
演者 1 山口 光生

製品管理部 創薬・HTS 製品 プロダクトマネージャー、
モレキュラーデバイスジャパン株式会社

演者 2 宇田川 紘司

製品管理部 創薬・HTS 製品 プロダクトマネージャー、
モレキュラーデバイスジャパン株式会社

イメージングを使ったハイコンテンツスクリーニングによる毒性評価の場合、蛍光強度のみならず細胞の形態的側面からの定量化が可能です。最近では、生体により近い環境を模倣した 3 次元組織モデル（たとえば、Organ-on-a-chip）による薬効評価や毒性評価が行われるようになっており、解析にもより高度な技術が求められるようになってきました。モレキュラーデバイスの ImageXpress® Micro Confocal はこのようなニーズを満たすための要件を備えています。このセッションでは、イメージングによる毒性評価のメリットと、解析の基礎から最新の 3 次元画像解析技術に至るまで、幅広く紹介します。



Vascularized liver spheroid in the OrganoPlate®

お問い合わせ

モレキュラーデバイスジャパン株式会社

Phone: **0120-993-656**

Web: www.moleculardevices.co.jp

Email: info.japan@moldev.com